

# 資料の概要について

## 1 議事について

### 議案 1 高知県安全安心まちづくり推進会議構成員による令和6年度の取組実績及び令和7年度の取組計画について（資料1～5）

昨年度は、推進会議構成員の各団体が、推進会議の重点テーマに沿った取組を積極的に行っており、特に、子供や高齢者などの安全確保に関する活動は、独自又は関係団体と連携した取組が活発に行われている。

また、各団体は、自らの特色や専門性を生かして、重点テーマ以外の分野における安全安心まちづくり活動も行っており、安全で安心な高知県の実現に向けた取組が推進されている。

### 議案 2 高知県安全安心まちづくり推進会議構成員による令和6年度の取組実績等の公表について

議案1の内容を県民生活課ホームページに掲載し、公表する予定である。

### 議案 3 高知県安全安心まちづくり推進会議事務局による令和7年度の取組について（資料6）

消費者月間中の5月26日に、高知大丸北側アーケード内で、幼稚園児と特殊詐欺及び悪質商法被害防止の啓発活動を行った。園児が通行人に対して啓発物を配りながら、元気よく被害防止を呼びかけた。

また、10月19日には、イオンモール高知において、例年大盛況となる防犯啓発イベント「安全安心まちづくりひろば」を開催するなど、他の取組も昨年度に準じて行う予定である。

## 2 高知県内の犯罪情勢及び交通事故情勢について

### (1) 県内の犯罪情勢について（資料7）

県内における本年6月末現在での刑法犯認知件数は1,618件であり、昨年同期比で総数は9件減少しているが、一部の罪種（粗暴犯のうち傷害など、窃盗犯のうち侵入盗、風俗犯のうち性的姿態撮影等処罰法など）では件数が増加している。

また、特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害は、特殊詐欺が本年6月末時点で認知件数50件、被害額約2億8,732万円（昨年同期比で認知件数は約3倍、被害額は約2倍の増加）、SNS型投資・ロマンス詐欺は、投資詐欺が認知件数13件、被害額約1億9,943万円、ロマンス詐欺が認知件数8件、被害額約1億441万円（昨年同期比で認知件数、被害額が減少）となっている。

いずれの詐欺も手口が複雑・巧妙化し、全世代で被害が発生していることから、今後も継続して被害防止を推進する必要がある。

### (2) 県内の交通事故情勢について（資料8）

昨年の県内における交通事故件数や高齢者の交通事故件数、交通事故死者数は全て前年から減少しており、特に死者数は統計が残る昭和27年以降で最少となっている。しかし、昨年の高齢者の交通事故死者数が前年から4人増加していることや、本年6月末時点での「全交通事故死者数に占める高齢者の割合」が6割と高い水準にあることから、あらゆる機会において交通安全の啓発を行う必要がある。